



『慰安婦と医療の係わりについて』

天児 都 / 麻生 徹男 著

「慰安婦問題」を正してゆく必要があります。

今、歴史学と文学との混同があります。「慰安婦問題」は性の攻撃性と自虐性のどちらも多く含んでいるので文学の普遍的なテーマの一つでしょう。歴史がきちんと学ばれていないところでは、嘘がとめどなく広がってゆきます。

そうしないためにも、まずは自分の国の歴史を正しく知ることです。

そして、私たちは自分たちの手で子や孫に本当のことを伝えてゆく必要があります。

A5判 180頁 定価：本体 1,481円 + 税

目次

第1章 慰安婦と医療の係わりについて 日本医師会会員・産婦人科専門医 天児 都

抄録

本文

1、いとぐち／2、2007年7月30日米下院決議についての日本の立場／3、主にヨーロッパ諸国と日本の売買春の係り／4、性病対策の変遷／5、おわりに／6、参考文献

英訳

第2章 花柳病ノ積極的豫防法

第十一軍第十四兵站病院陸軍軍醫少尉 麻生 徹男

一、緒言／二、娼婦／三、検査／四、アルコール飲料／五、禁慾／六、花柳病ノ認識／七、狭義ノ予防法／八、患者ノ取扱／九、結言

英訳

戦線女人考（『上海より上海へ』より）

第3章 「慰安婦問題」の問いかけているもの 天児 都

梓書院 (貴店番線)	注文	日付	ご担当	ISBN 978-4-87035-524-8 C0022
	冊	/	様	慰安婦と医療の係わりについて
	天児都 / 麻生徹男 著			
				福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

【ご注文は FAX : 092-643-7095 まで】